

# 総務環境委員会

## 説明資料

平成29年12月5日

総務局

# 目 次

頁

- 1 第二期中期目標からの主な変更点について・・・・・・・・・・ 1
- 2 大学間交流協定に基づく留学生等の派遣・受入について・・・・・・・・ 8
- 3 第二期中期目標期間における名古屋市立大学病院に対する財源措置等の  
推移について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

# 1 第二期中期目標からの主な変更点について

第三期中期目標（案）本文（抜すい）	変更の趣旨
<p>前文 （P 1 2 6 ・ 9 行目）</p> <p><u>このような基本的な理念の下、第三期中期目標期間においては、少子化・高齢化が進行する社会の現状を踏まえて、子育て世代や高齢者の支援、子どもの育成及び若者の活躍の支援、地域の医療と健康・福祉の向上、男女平等参画の推進など、名古屋市を取り巻く諸問題の分析・解決に寄与する。さらに、グローバル化などが進展する社会情勢下で、アジア競技大会の開催やリニア中央新幹線の開業を見据えた都市機能の集積・強化が図られる中で、都市魅力の向上、地域経済・産業の発展、国際化の推進に寄与する。これらの取り組みを通じて、名古屋市とともに発展する大学としてさらなる飛躍をめざす。また、ガバナンス機能を強化し全学が一体となって教育・研究・社会貢献に取り組み、国内外に広く大学の魅力を発信することにより、多くの若者や研究者に選ばれ、産業界や行政などとの連携を深め、世界をリードする大学への発展をめざす。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市を取り巻く諸問題と大学として寄与すべき事項を具体的に明記</li> <li>・教育・研究・社会貢献に、全学一体で取り組むことを明記</li> <li>・多くの若者や研究者に選ばれ、世界をリードする大学への発展をめざすことを明記</li> </ul>

第三期中期目標（案）本文（抜すい）	変更の趣旨
<p>(P 1 2 6 ・ 2 2 行目)</p> <p>1 名古屋市立大学は、<u>医・薬・看護・経済・人文社会・芸術工学及び総合生命理学の全七学部を有する総合大学としての特性を活かして、分野横断的な知を修得させ、主たる専門分野のみならず、連関する分野への志向性と幅広い知見を養う教育を行う。</u>これらの教育を通じて上質かつ豊かな感性で社会と向き合う力を育み、<u>地域社会と国際社会に貢献し、次世代をリードできる優れた人材を輩出する。</u></p> <p>2 名古屋市立大学は、<u>最先端の研究成果を世界に発信する地域の研究拠点として、健康・福祉の向上、生命現象の探究、経済・産業の発展、都市政策とまちづくり、子どもの育成支援、国際化の推進、文化芸術の発展などに関する研究課題に重点的に取り組む。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全七学部を有する総合大学としての特性を活かして、地域社会及び国際社会に貢献し、次世代をリードできる優れた人材を輩出することを明記</li> <li>・ 地域の研究拠点として、経済・産業の発展、都市政策とまちづくり、子どもの育成支援などの研究課題に重点的に取り組むことを明記</li> </ul>

第三期中期目標（案）本文（抜すい）	変更の趣旨
<p>(P 1 2 7・2行目)</p> <p>3 名古屋市立大学は、<u>地域に開かれた大学として、広く市民や名古屋市などとの連携を一層強化し、教育研究成果を還元することを通じて、地域や行政の課題解決に寄与する。また、地域の医療の発展に中核的な役割を果たすとともに、生涯にわたる教育の推進に積極的に寄与するなど、知の拠点として全学的に地域社会に貢献する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に開かれた大学として、生涯にわたる教育の推進に積極的に寄与することを明記</li> </ul>
<p>(P 1 2 7・7行目)</p> <p>名古屋市立大学は、教育・研究・社会貢献に関するこれらの活動を市民の理解を得ながら推進していくために、<u>より積極的に情報を発信し、説明責任を果たす。</u>また、大学の運営体制の自律性・弾力性を強化し、財務内容の改善に取り組むことで、運営の基盤を強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学運営の基本方針として、積極的な情報発信と説明責任を果たすべきことを明記</li> </ul>

第三期中期目標（案）本文（抜すい）	変更の趣旨
<p>Ⅱ 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>第1 教育に関する目標</p> <p>1 教育の内容及び教育の成果に関する目標 （P 1 2 8 ・ 8 行目）</p> <p>(3) 入学者選抜</p> <p><u>学士課程においては、高大接続システム改革を踏まえ、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性）」を多面的・総合的に評価する入学者選抜を的確に実施し、十分な基礎学力を備えて、勉学への強い意欲を有し、将来、豊かな人間性を養い、社会で活躍できる適性を有する多様な人材を確保する。</u></p> <p>2 教育の実施体制等に関する目標 （P 1 2 8 ・ 2 2 行目）</p> <p>(2) 教育環境</p> <p><u>総合大学として全学が一体となって教育・研究活動に取り組むために必要な教育施設のあり方について、長期的な視点で検討するとともに、ICTを含めた教育用情報環境を整備・拡充するなど、学生及び教職員にとって利用しやすい教育環境の整備に努める。</u></p>	<p>・新たに「入学者選抜」について項目をたて、国の高大接続システム改革を踏まえた入学者選抜の実施を明記</p> <p>・教育施設のあり方における長期的な視点での検討及びICTを含めた教育用情報環境の整備・拡充について明記</p>

第三期中期目標（案）本文（抜すい）	変更の趣旨
<p>3 学生への支援に関する目標 （P 1 2 9 ・ 5 行目）</p> <p>(1) <u>経済的に困窮している学生、留学生や障害のある学生などの多様なニーズに応じた学習・生活支援、経済的支援及びキャリア支援を充実させる。特に、学生が個性と能力を生かして生涯にわたりキャリアを形成していけるように、早い段階からのキャリア支援を充実させる。</u></p> <p>第2 研究に関する目標</p> <p>1 研究水準及び研究の成果等に関する目標 （P 1 2 9 ・ 1 6 行目）</p> <p>(2) 研究成果の発信と還元 社会ニーズの高い研究課題に重点的かつ分野横断的に取り組み、<u>その成果を広く世界に発信するとともに、行政課題の解決につなげるなど社会へ還元する。</u></p> <p>2 研究の推進に関する目標</p> <p>(1) 外部資金の獲得などによる研究基盤の強化 <u>研究費を戦略的に配分し、外部研究資金の獲得を図るなどにより、研究環境の充実につなげ、もって高度なレベルの研究活動を推進し、さらなる外部研究資金の獲得につなげる</u>といった、<u>好循環を形成し、研究基盤を強化することで世界をリードする研究を推進する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的に困窮している学生など支援の対象者とする学生を具体的に明記</li> <li>・ 早い段階からのキャリア形成支援の実施を明記</li>   <li>・ 研究成果を行政課題の解決につなげるなど社会へ還元することを明記</li>   <li>・ 外部研究資金の獲得と研究基盤の強化に係る好循環を形成し世界をリードする研究を推進することを明記</li> </ul>

第三期中期目標（案）本文（抜すい）	変更の趣旨
<p>第4 国際化に関する目標 （P130・13行目）</p> <p>2 <u>海外の大学との連携を図りながら、留学生の積極的な受入れ及び学生の派遣・留学を促進し、国際感覚豊かな人材を育成する。</u></p> <p>第5 附属病院に関する目標 （P130・21行目）</p> <p>2 <u>救急医療及び災害医療の拠点として、市民の命を守るための機能を強化する。</u></p> <p>3 <u>名古屋市が設置する医療機関を始め、地域の医療機関等と相互協力関係を強化し、地域包括ケアシステムの構築に寄与するなど、地域住民の要請に応えられる医療を提供し、在宅医療・介護連携及び保健医療の推進にも貢献する。</u></p> <p>（P130・29行目）</p> <p>5 <u>病院長のマネジメントのもと、病院の経営改善を継続するとともに、将来的な収支バランスを勘案しながら機能強化を図ることにより、健全で安定的な経営に取り組む。</u></p>	<p>・留学生の積極的な受入れと学生の派遣・留学の促進を明記</p> <p>・救急医療・災害医療拠点機能を強化することを明記</p> <p>・在宅医療・介護連携及び保健医療の推進への貢献を明記</p> <p>・病院経営における病院長のマネジメントと将来的な収支バランスの勘案について明記</p>



第三期中期目標（案）本文（抜すい）	変更の趣旨
<p>Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>第1 組織運営の改善に関する目標 （P 1 3 1・9行目）</p> <p>2 有用な教職員の確保と育成</p> <p>法人にとって有用な人材を確保するとともに、教職員の人材育成の充実を図る。とりわけ、法人の自律的な運営の核となる<u>固有職員については、将来的な管理職への登用を見据えて、</u>職員採用や一層の能力向上に積極的に取り組む。</p> <p>Ⅵ その他の業務運営に関する重要目標</p> <p>第2 環境配慮、安全管理等に関する目標 （P 1 3 2・18行目）</p> <p>2 危機管理体制の強化等</p> <p><u>防災・減災対策及び発災時の事業継続体制の構築などにより危機管理体制を強化すると</u>ともに、教育・研究機関及び医療機関としての責務などの視点に基づいて、安全管理対策の充実を図る。</p>	<p>・固有職員について将来的な管理職への登用を見据えた取り組みを行うことを明記</p> <p>・発災時の事業継続体制の構築など危機管理体制を強化することを明記</p>

（注）下線は第二期中期目標からの変更箇所

## 2 大学間交流協定に基づく留学生等の派遣・受入について

大 学 名 (締結時期)	国名等	留学生等	
		派 遣	受 入
南カリフォルニア大学 (平成4年9月)	アメリカ	96 人	4 人
トリノ工科大学 (平成13年1月)	イタリア	17	3
南京医科大学 (平成14年11月)	中国	0	0
ウィチタ州立大学 (平成14年12月)	アメリカ	8	0
ハルリム大学 (平成18年11月)	韓国	26	45
ペーチ大学 (平成19年1月)	ハンガリー	0	0
ニューサウスウェールズ大学 (平成19年1月)	オーストラリア	61	20
コロombo大学 (平成19年1月)	スリランカ	0	0
パリ第13大学 (平成19年5月)	フランス	5	0
瀋陽医学院 (平成20年12月)	中国	0	0
ライプツィヒ応用科学 大学 (平成21年3月)	ドイツ	0	3
マレーシア国民大学 (平成22年3月)	マレーシア	0	0
ベトナム国立大学ホーチ ミン校 (平成22年3月)	ベトナム	0	0

大 学 名 (縮 結 時 期)	国名等	留 学 生 等	
		派 遣	受 入
サンティエティエンヌ 大学アート・デザイン 学校 (平成22年6月)	フランス	0	6
中央民族大学 (平成22年6月)	中国	6	20
瀋陽薬科大学 (平成22年8月)	中国	0	13
パドヴァ大学 (平成23年2月)	イタリア	1	4
南ソウル大学 (平成23年4月)	韓国	19	30
シャルジャ大学 (平成23年6月)	アラブ首長 国連邦	0	0
ルートヴィクスハー フェン経済大学 (平成23年12月)	ドイツ	39	20
マドリッド工科大学 (平成24年9月)	スペイン	0	1
サント・トーマス大学 (平成24年11月)	フィリピン	2	9
黒竜江中医薬大学 (平成25年10月)	中国	0	0
ハジェテペ大学 (平成26年10月)	トルコ	0	2
国立モンゴル医科大学 (平成27年3月)	モンゴル	0	0
モンペリエ・ポール・ ヴァレリー大学 (平成27年12月)	フランス	0	0

大 学 名 (締結時期)	国名等	留学生等	
		派 遣	受 入
文藻外語大学 (平成28年3月)	台湾	8 人	5 人
忠南大学 (平成28年7月)	韓国	0	0
バレンシア大学 (平成28年7月)	スペイン	0	0
常州大学 (平成28年11月)	中国	0	0
天津中医薬大学 (平成28年11月)	中国	0	0
タマサート大学 (平成28年11月)	タイ	0	0
中国薬科大学 (平成29年1月)	中国	0	0
ハサヌディン大学 (平成29年5月)	インドネシ ア	0	0
ミシガン州立大学 (平成29年6月)	アメリカ	0	0
貿易大学 (平成29年7月)	ベトナム	0	0
ウェスタン大学 (平成29年9月)	カナダ	0	0
合 計		288	185

(注) 人数は平成18年度(公立大学法人化)から平成29年9月末までの合計

### 3 第二期中期目標期間における名古屋市立大学病院に対する 財源措置等の推移について

#### (1) 運営費交付金

区 分	平 成 24 年度	平 成 25 年度	平 成 26 年度	平 成 27 年度	平 成 28 年度	平 成 29 年度
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
退職手当	36	36	153	248	252	277
リース料	183	274	372	400	415	429
追加措置	—	—	—	499	499	499
合 計	219	310	525	1,147	1,165	1,205

(注) 1 平成24年度から平成28年度は決算額、平成29年度は予算額

2 端数処理により、合計が一致しない場合がある。

#### (2) 施設整備費貸付金

年 度	平 成 24 年度	平 成 25 年度	平 成 26 年度	平 成 27 年度	平 成 28 年度	平 成 29 年度
				百万円	百万円	百万円
金 額	—	—	—	213	1,081	449

(注) 平成24年度から平成28年度は決算額、平成29年度は予算額

#### (3) 経常損益

年 度	平 成 24 年度	平 成 25 年度	平 成 26 年度	平 成 27 年度	平 成 28 年度
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
経常損益	△49	△105	△325	315	△101

